

各位

上場会社名 株式会社 テイン
 代表者 代表取締役社長 市野 諒
 (コード番号 7217)
 問合せ先責任者 取締役 那須 賢司
 (TEL 045-810-5511)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年5月13日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成24年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,835	△38	△29	△33	△6.46
今回修正予想(B)	2,788	△20	△11	△5	△1.13
増減額(B-A)	△47	17	17	27	
増減率(%)	△1.7	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	2,883	△20	△23	△22	△4.27

修正の理由

当期の業績につきましては、東日本大震災からの復興に向けた動きに支えられ、また成長鈍化の不安材料はあるものの中国を始めとする新興国の継続的な成長や米国経済の改善などを背景に経済活動は緩やかな回復基調となりましたが、年央に発生したタイでの大洪水はこの回復に水を注すこととなり、年度後半では欧州債務問題、急激な為替の変動、さらには原油価格の高止まりや不安定な電力供給体制などによって先行き不透明な状況が続く中、国内外の多くの地域で、こういった状況や不安定な雇用情勢などを背景に消費者の生活防衛意識は依然として高く、サスペンション用品は引き続き厳しい販売環境となりました。

このような情勢のもと、当社グループでは、国内海外を問わず、幅広い地域に対して昨年リリースしたポリウムゾーン向け製品「STREET BASIS DAMPER」の販売促進と客先仕様品の受注などを強力に推し進めてまいりました。また、前述の製品の機能拡張品「STREET ADVANCE DAMPER」を2012年1月から追加で市場投入するなど、引き続き市場の活性化と売上の復調に向けた取り組みを鋭意おこないましたが、カー用品需要は前述のように本格的な復調には至らず、国内外における自然災害の影響や、海外における販売では記録的な円高水準の継続が逆風となり、通期の売上高については、平成23年5月13日に公表した予想を若干下回る見通しとなりました。

一方、営業利益、経常利益、当期純利益については各種の経費削減施策が奏功し、同予想を上回る見通しとなりました。

以上のことから、通期の連結業績予想数値を上表のとおり修正いたします。

以上